

環境教育推進コンサートを開催したい！

- ・ 2024 秋
- ・ 1 時間程度
- ・ クラシック



環境教育を
啓発する

コンサート 新・里山前



環境(教育)は
社会の基盤

- ・ 吹奏楽
- ・ 合唱



積水ハウス株式会社
5本の樹の啓発
生物多様性



bioa
環境教育の推進
里とまちをつなぐ



NPO 関西芸術文化支援の森
ゆずりは
若手音楽家の活動の場の提供

1 はじめに

bioaは長年、主に小学校でビオトープを活用した環境教育に取り組んできたが、単発の教育活動ではなく、『段階的・継続的』な環境教育の推進の必要性を感じている。

特に小学校では幼年期から中学の手前までの成長の過程の中で、その学年に即した環境教育を実践し、学年が上がると共に環境の知識が積み重さなり、卒業するまでにその年代における生物多様性への理解、環境改善の担い手としての意識の醸成がなされる環境づくりが必要である。

しかしながら、現状は小学校での教科や教員の負担の増加などで環境教育の実践が出来ない学校も多い。そのような状況下の社会や生活の中で、自然環境・生物多様性への理解が衣食住における基盤を支え、持続可能な社会づくりのために必要不可欠なことをあらゆるステークホルダーと共有できる環境づくりが必要と考えている。

特に小学校の義務教育の中で、環境への理解、環境改善の必要性を生物多様性への理解と共に、ビオトープを活用した環境教育の実施通して実践していきたい。

演奏会を実施し、多くの人々への認知・啓発、そして環境教育推進を加速化したいと考えている。

2 環境教育啓発事業

環境教育啓発コンサートの実施

教育関係者と話していても環境分野とか他の教科や社会の中での一分野の認識と思われる対応が多い。

環境教育が社会を支える基盤であること、SDG s でも環境⇒社会⇒経済という考え方で成り立っているので、より普及しやすい環境を整える必要があると考えている。

そこで、多くのステークホルダーを巻き込んだ環境教育コンサートを開催して広く普及啓発に努めることとする。

『NPO法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは』、積水ハウス(株)と協働：

ゆずりは理事長の和泉喜久男さんは元難波愛の園幼稚園で園内にビオトープを設置し、幼児環境教育を担っていたので、環境教育が重要であることとbioaの取組を理解して頂いている。

場所：まちなかの自然の豊かな場所での開催…梅田スカイビルの新・里山の前広場が望ましいが、他の候補地を含めて打診する。

内容：学校や幼稚園のビオトープ啓発用の楽曲の演奏、高校などの吹奏楽部にも参加依頼し、演奏の輪を広げる。

多くのステークホルダーの参加

：企業、行政、幼保・こども園、小中高校、大学、環境NPO、地域団体など環境教育の普及啓発と理解の深化を目的とする。

音楽で環境教育の必要性をを啓発する

「NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは」と協働
ゆずりはは若手演奏家に演奏の場を提供するなどの目的で設立され、理事長の和泉喜久男さんは難波愛の園幼稚園園長時代にビオトープづくり及び幼児期の環境教育の実践をされていたため、協働者として一番ふさわしい。

教育期間内でも環境分野などという言葉がよく聞かれ、環境(教育)は社会の基盤を支えていることの啓発が必要不可欠なので、このような取組を企画する。



梅田スカイビルのたもとの新・里山などのまちなかの自然豊かな場所での演奏会を目指す。



3 目的と社会的背景

地球温暖化、生物多様性喪失などの環境問題が顕著に露見している。その理解ために教育の重要性は共有しているが、環境課題解決に資する人材の育成とそのために幼少期からの発達に合わせた段階的・継続的なカリキュラムに基づいた授業の実践、環境・社会・経済とのアライアンスの啓発を目的とする。

例えば、マイクロプラスチック問題はプラスチック素材が重用させている理由、木質からプラスチックへの変遷過程、現在の環境への影響を教育によって共有し、そのためのひとつとして今の環境しか知らない子どもたちが里山環境の変遷課程の理解、そして共有し、次世代への持続可能な社会づくりにつなげていかなければならない。

b i o a のミッションは環境教育を媒体にして本来の自然環境を保全・再生・創出することである。里山や森林に触れる・学ぶ機会が増えることで、SDGs 4 番、15 番の質の高い教育の提供と陸の豊かさを守ることが出来ると考えている。